

1) 企業情報

株式会社桑名園本店

所在地：山形県米沢市中田町760番地

創業年：1887年

従業員：40名

URL：<http://www.sakura21.info>

代表者：井上茂



桑名園本店が展開するカフェ「茶蔵(さくら)」

● 創業の歴史(経緯)

明治20年初代井上豊吉が山形県高畠町で創業。日本茶の行商を始める。

昭和42年12月有限会社桑名園本店設立。

昭和45年10月協同組合米沢総合卸売センター加入、平成12年7月米沢市に本社移転し、株式会社に組織変更。

平成16年茶蔵米沢店オープン。平成19年茶蔵山形店オープン。

現在米沢・南陽・山形に7店舗営業中。

● モノづくりの考え方・製造のこだわり

地場産品・地域素材を活用した付加価値商品の開発と販路拡大。

季節・及び特定地域でしか味わえない一次生産品を加工することにより、いろいろな美味しさを幅広く通年提供する。

また、一次産品・生産者のPR・販促活動にもなり、消費拡大や生産も増え地域活性化につながる。

山形の食の新たな美味しさを全国に提案していく。



カフェ「茶蔵」に併設されたショップ



ショップ内の様子

2) エントリー商品

● 紅花香茶

山形の県花「紅花」と梅の果肉、しそ葉、昆布がブレンドされた香茶。
1992年に「べにばな国体」と冠した国民体育大会が山形県で開催された際に作られた商品で、30年の歴史を持つ商品だ。
室町時代末期より続く紅花の歴史・文化・物語を全国に伝えることのできる本商品は、山形のお土産・贈り物として最適である。



商品外観
外装、中身の包材パックの双方がデザイン対象。



一つ一つ丁寧に梱包されていく。

価格：540円(税込)

内容量：32g(2g×16P)

保存方法：常温

原材料：食塩、砂糖、梅肉(紀州産)、梅粉(紀州産)、抹茶、しそ、昆布、紅花(山形産)、調味料(アミノ酸等)、酸味料、香料

● 商品開発の歴史や特性、商品に込めた思い

1992年に第47回国民体育大会が「べにばな国体」というテーマを冠して山形県で開催された。これに合わせて作られたのが本商品である。

県花である「紅花」と梅の果肉、しそ葉、昆布がブレンドされた香茶で、山形ならではの土産、贈り物としてご利用していただける商品となった。

「紅花」は米沢藩の御役作物として室町時代末期より栽培されてきた。

最上川中流地域で大量生産された紅花は千紅花として京都や江戸に送られ、口紅や友禅染めの染料、薬用に使用されてきた歴史的な花である。

本商品を通して、県花「最上紅花」の歴史と文化と物語を全国に伝えたい。

3) 現状と課題、今後の方向性について

● 応募の動機

1992年に製造・販売を開始してから約30年。
変わることなく製造・販売を続けてきたが、現代の社会で求められる新たなパッケージデザインで、もう一度商品を蘇らせたいという思いから応募した。

● 販売している上での課題と解決に向けて

国民体育大会をピークとして、売上が年々減少している。
今では限られたホテルや旅館、観光施設や直営店舗での販売となっている。
最上紅花という歴史ある県花を、もう一度全国へと発信していきたい。

● 今後取引したい販路と顧客層

山形県を訪れた旅行者のお土産として。
20~50代の女性。
百貨店、高級スーパー。

4) 現在のパッケージについて

● 現在の包材とデザインの課題

自社で制作したデザインなので、プロのデザイナーと比較して、今の時代にそぐわないものであると感じている。



紅花香茶が陳列されている。



イチオシ商品の「だしの素」

5) 新パッケージのデザインについて

● 新たなデザインに求める要素と変更の範囲

【新たなデザインに求める要素】

- ・デザイン対象は外装と香茶の包材パックの両方。
形状・サイズ感については基本的に自由だが、外装サイズについては2gの香茶パック(アルミ包材)が16個入るサイズの外装で。(採択後、内容量については変更可能性あり。)香茶パックのサイズは【包材】を参照。
外装の素材は変更可。特別な指定は無いが、高価なものは避けていただきたい。
香茶包材の素材については、アルミ包材で確定。(香茶のパック)
詳しくは特設サイトや前ページ画像を参照。
- ・デザインサイズについては、外装は自由。
香茶の包材パックは「タテ68mm×ヨコ59mm」
(同デザインのもので8個連なり2つ入るイメージ。詳細は各画像を参照。)
- ・パッケージの費用感は販売価格の25%程度と想定。
- ・口紅・薬・紅花染衣装へと形を変えて古き万葉の頃から日本の女性の心を魅了してきた「紅花」の可愛らしい色彩のデザインとパッケージとロゴを希望。
- ・「デザイン・パッケージ・値段」の3要素が「かわいい」ものを希望する。
- ・コンセプトでもある「紅花」の歴史や文化を感じられるデザインがよい。

【包材】

- ・香茶を包むのはアルミ包材。
タテ68mm×ヨコ59mmのパックが8つ連なり、2セット内包されている。(2g×16)
サイズは変更不可。
- ・外装の素材は指定なし。現状は和紙。
現在はタテ200mm×ヨコ79mm。
(サイズは変更して展開することを予定しているため、採択後に変更可能性あり。)
現在は30mmほどの折り目をつけてシールで上を綴じている。(提案の際は必要無し)

【商品名】

現在は「紅花香茶」。
商品名は変更可。

【商品ロゴ・企業ロゴ】

商品ロゴは提案。(必須)
企業ロゴについては、可能であれば、展開するカフェ「茶蔵」のロゴをパッケージ裏に使用。(サイトボタンよりダウンロード)

【取り入れたい要素】

- ①地域性(地域らしさの強調)
- ②高級品化(付加価値を高め販路開拓)

● メッセージ

紅花香茶は自社で企画・開発した思い入れのある商品です。
この商品を時代に合ったデザインにすることで、もう一度商品を蘇らせ、紅花の持つ魅力を全国の皆様に提案したいと考えています。



代表取締役の井上茂氏

デザインに関するご質問は、募集開始より10日間
限定で受け付けております。(11月27日(金)まで)
TOHOKUデザイン創造・活用支援事業 請負事業者
株式会社山川印刷所内
おいしい東北パッケージデザイン展2020事務局
メール: tohoku_design@yamakawa-p.jp